

<注意事項>

- このレポートは、問題が2問ある。2問とも解答すること。
- 教務課の提出用BOXに提出すること。E-mailによる提出は認めない。提出期限は1月29日（木）午後5時とする。
- 日本語または英語で解答すること。
- 問題について相談することは構わないが、レポートは自分自身の力で書くこと。
- 字数については問題文の指示に従うこと。
- 解答用紙は特に指定しない。
- 解答はWordなどで作成することが望ましいが、手書きでもよい。
- まったく同じ文面のレポートが複数見つかった場合は、それらすべてを0点とする。
- 解答の際には、下記のサイトにあるデータファイルのデータを用いること。

<https://www.econ.kobe-u.ac.jp/student/undergrad/keijiban/141006a.html>

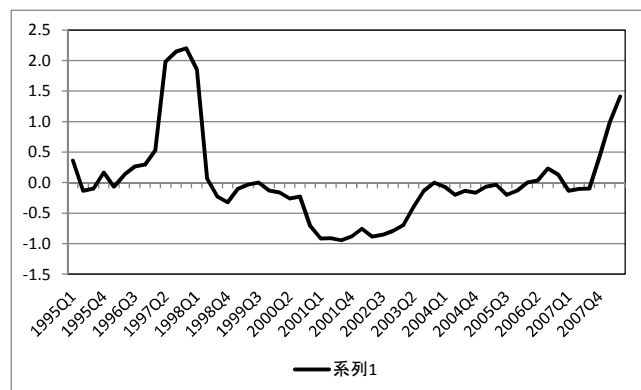
問題1（物価）

(1) データファイル「問題1」のシートにある、「貸出金(末残)」、「マネタリーベース平均残高」、「M2+CD」の各データを折れ線グラフであらわしなさい（グラフの色、凡例の書式、目盛の設定は任意）。

(2) 1999年末期より2000年代半ばにかけて、日本ではデフレーションの傾向が観測されている。これは、下の参考図表グラフからも明らかである。このデフレーションの金融面での要因について、(1)で作成したグラフからわかることを踏まえて説明しなさい（500字程度）。

※講義で扱った内容に従って論じること。

参考図表：日本のCPIインフレ率（データ出所：総務省統計局）



問題2

- (1) データファイル「問題2」のシートにあるデータを用いて、ケインズ型消費関数を最小二乗法で推定しなさい。サンプル期間は1960年第1四半期(1960:Q1)から1995年第4四半期(1995:Q4)とする。各変数は自然対数をとること。推定の際には定数項を含め、推定結果には定数項・係数それぞれの推定値・t値を記載すること。

- (2) (1)の結果からどのようなことが言えるか。講義内容に即して説明しなさい（500字程度）。

(問題ここまで)